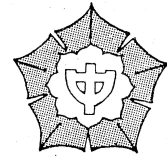


実習



校訓

郷土を愛し
明るく素直で
たくましく

文責：校長 川内康範

花壇に堆肥を入れました。



10月31日(火)昼休みに美化・奉仕委員会の声掛けで、花壇に堆肥を入れる作業をしました。全校生徒で行ったので短い時間で終わりました。花の苗植えは13日(月)に行う予定です。



県中総体駅伝競技

に行ってきます。

県の駅伝大会が9日(木)、諫早市の陸上競技場で行われます。女子チームが昨年に引き続き参加します。頑張ってください。応援よろしくお願ひします。

「道徳」の授業

道徳の内容について保護者のみなさんと対話しているようなつもりで書いています。

(5) 真実を大切に、真理を探究して新しいものを生み出そうと努めること。

真実とか真理という言葉は私たちにとってあまり身近な言葉ではないようです。ノーベル賞を取るような研究者を浮かべてしまいますが、身近な話でいうと何だろう？漢字を忘れたとき、辞書を引くこと？でもそれだけでは「新しいもの」は生み出せない気がしますね。道徳の解説書には「一面的な見方になって『これしかない』と思いついてしまったり、ほかの見方や意見を受け入れられなくなってしまうことがあります。また、流行やうわさ、メディアからの情報に敏感な余り、真実を確かめようとしないで簡単に信じてしまうこともある。」とあります。このようなことは私にも確かにあります。最近よく聞く言葉に「EBM (evidence based medicine)」という言葉があります。「根拠に基づいた医療」という意味です。私たちのまわりにはいろいろな情報がありますが、「ほんとかかな？」と疑いたくなるものがたくさんあります。医療だけでなく教育に関しても、根拠に基づいた考え方が大切だと思えます。以前『東大合格生のノートはかならず美しい』という本がありました。美しいノートを書けば必ず東大に合格できるかという点、そうとも限らないと思います。そもそも「美しい」の基準もよくわかりません。(実際にその本を読んでみれば、その根拠が書いてあるのかもしれないが。)

(6) 思いやりの心をもち人と接すること

家族などの支えや多くの人々の善意により日々の生活や現在の自分があることに感謝し、進んでそれに応え、人間愛の精神を深めること。

若いころはとかく「自分が自分」と自分のことを中心に考えてしまうことが多いと思います。

しかし、スポーツなどで優勝インタビューを受けている人を見てみるとほとんどの人が感謝の言葉を述べています。「自分がこれだけ頑張ったのは自分が偉いからだ、自分が優れているからだ。」と自慢しているのは聞いたことがありません。自分がきついときに励ましてくれた人がそばにいたことに気付くのだと思います。覚えい剤に手を染めて逮捕された元プロ野球の清原選手はそのことを忘れてしまったのでしょうか。話は変わりますが、先日私が体験した駅でのできごとです。駅のホームに並んでいると前の若いカップルが大きな声で話したりふざけあったりしてとつても気にならず嫌な気分になりました。(本人たちは楽しいのでしょうが、周りのことが目に入っていない感じでした。)その後列車に乗ると、私の隣に座っていた男性がすつと立ち上がり、近くに立っていた赤ん坊を抱いたたお父さんに席を譲っていました。その時は、先ほどの嫌な気分がまだ残っていました。が、今度はさすがらしくうれしい気持ちになりました。短い時間に対照的な二つの行動を見て、思いやりの心って大事ななあとなつくづく感じました。



水産教室 (1年生) の様子